

加賀谷 哲之氏（一橋大学 大学院経営管理研究科 教授、CSR 研究会座長）

2000 年一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。一橋大学商学部専任講師、助教授を経て 07 年より大学院商学研究科 准教授。2020 年より現職。専門分野は財務会計、IR、リスク管理、企業価値評価。研究領域は、会計属性の国際比較、無形資産の会計・評価、リスク管理・評価（BCM や情報セキュリティなどを中心に）。研究論文「サステナビリティ開示の拡充とその影響」月刊資本市場（450）4-14 2023 年 2 月等。

西原 香織氏（アサヒグループホールディングス株式会社 Social Impact & Affairs Senior Manager）

2002 年、アサヒビール株式会社に入社。営業職および持ち株会社での役員秘書をそれぞれ約 7 年間経験後、アサヒビール株式会社の経営企画部へ異動。事業会社のサステナビリティ方針・戦略の策定、計画管理、ならびに「責任ある飲酒」の推進に従事。2023 年 9 月より現職。グループのサステナビリティ戦略、中期計画、ガバナンス等を担当。

清水 淳史氏（株式会社三井住友フィナンシャルグループ 社会的価値創造企画部 副部長）

2003 年 三井住友銀行入行。伊藤忠商事出向、ストラクチャードファイナンス営業部、経営企画部等を経て 2024 年 4 月より現職。社会的価値創造・サステナビリティに関する戦略策定、ステークホルダー対応、ガバナンス等を担当。ロンドンビジネススクール修士（MBA）

向井 芳昌氏（日本たばこ産業株式会社（JT） サステナビリティマネジメント部長）

京都府出身。日本たばこ産業株式会社（JT）へ入社。大津営業所、枚方営業所勤務の後、1996 年より約 10 年間、本社で広報・開示関連業務に従事。2009 年から約 4 年間、JT International Internal Audit（オランダ）に赴任。帰国後、飲料事業部企画部長、経営企画部部長などを経て 2019 年 1 月より現職。

寺沢 徹氏（アセットマネジメント One 株式会社 運用本部 リサーチエンゲージメント部 エグゼクティブ ESG アドバイザー）

東京大学工学部精密機械工学科卒。富士銀行（現みずほ銀行）にて金利デリバティブや外国為替のトレーディング、市場企画、証券化商品投資、ALM（Asset Liability Management）など幅広く市場部門業務に従事。カストディ業務、みずほ投信投資顧問（MHAM）運用企画部長を経て、2016 年 10 月アセットマネジメント One 発足時より責任投資グループ長、2022 年より現職。JSI（ジャパンスチュワードシップイニシアティブ）運営委員長。経産省はじめ多くの検討会委員を務める。

富田 秀実氏（一般社団法人サステナビリティ経営研究所 代表理事）

東京大学工学部物理工学科卒。プリンストン大学工学部化学工学修士修了。ソニー株式会社で、2003 年の CSR 部発足当初から統括部長を約 10 年務める。その後、ロイドレジスター クオリティアシュアランス（LRQA）、LRQA サステナビリティ株式会社代表取締役を経て、現職。ISO 26000, ISO 20400, GRI スタンダード、東京オリンピック・パラリンピック持続可能な調達コード等、国内外の規格等の策定に多数参加。

福岡 徹（一般財団法人企業活力研究所 専務理事）

東京大学経済学部卒。1986 年に通商産業省（現・経済産業省）に入省し、2018 年に経済産業省を退官。この間、経済企画庁、外務省、農林水産省、消費者庁や（独）産業技術総合研究所でも勤務。2019 年から、（一財）企業活力研究所の専務理事として、同財団の業務を推進。